



ZIM-SHEPにおけるタブレットの有効活用例(1)

ODKを使った調査

～途中経過の共有～

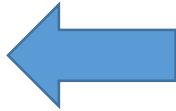
ZIM-SHEP Team

June 2021

ZIM-SHEPのタブレットコンテンツについて

1. Apps

- **ODK**
- Share it



2. Documents

- ZIM-SHEP ToTs Presentations/worksheet (Coming and updating)
- SHEP Handbook
- Introduction of the Psychology
- Other Activities supplemental materials (Future)

3. Videos

- ZIM-SHEP Activities
- JICA Tsukuba Agricultural techniques (at In-field ToT)
- Other videos (Once it's developed) (Future)

ODK について

Open Data Kit (<https://opendatakit.org/>)

—Open source (無料) のデータ調査ツール

サーバー要件 (調査中)

- ・固定IPアドレスを持つサーバー
- ・Docker, Docker composeが入れられること
- ・ジンバブエでは仮想サーバー (VPS hosting server) を使用中

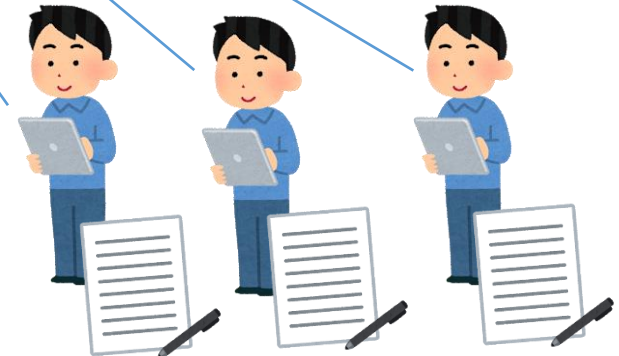


データ送付側: Mobile 端末



スマホからも可能。iOS, Android どちらも対応

Internet通信のない環境で入力作業可能
※データ送付時はネット環境が必要



入力されたデータを一括でCSVファイル、Odataなどで出力できる。

ODKの利点

- ・これまでプロジェクトの負担となっていた、紙媒体からExcelへの手入力が不要
→人件費、ミス軽減、なにより、スピーディーな解析が可能に
- ・様々な質問内容をプロジェクトが自由にExcelを使って設計し、オリジナルの質問票を作成することが可能。

収集できるデータ例

- ・GPS
- ・写真
- ・音声
- ・Yes/No 質問
- ・複数回答の質問
- ・テキスト、数字入力の質問
- ・自動計算
- ・プルダウンの回答 etc

- ・様々な解析と視覚化が可能 – OData とPower BIの利用

ZIM-SHEPのODKを使った調査の取り巻く環境

背景

- ・クロップアセスメント(国のアセスメント)で、すでに、ODKを導入済み
- ・すでに、園芸局では、他のプロジェクトで調査のために使用されている
- ・普及員約5000名に対して、国主導のタブレット配布が行われており(配布中)、今後ODKを使った調査が頻繁に行われると考えられることから、プロジェクトの調査内容を、国の調査に含ませるなどが可能かもしれない(希望的観測)



サーバーの調達の経緯

- (1)ICTのセクションに、サーバーの利用について相談
→農業省ICTのサーバーがダウンしており、使えないことが判明
- (2)ODKが提供する、Cloud server の調達を検討
→海外送金が必要な為、会計上困難の為断念
- (3)プロジェクトでサーバーを調達
→物理サーバーは管理が大変かつ高額の為、VPSというバーチャルサーバーを現地業者から調達、サーバーのSet upを行い、ODKをサーバーにインストール、質問票などを作成する

ODK使用の課題

- ・入力作業自体は、オフライン環境で行えるものの、データの送付時に、サーバーへの接続が必要。そのため、インターネット回線が必要となる。

- 灌漑地区は郡オフィス、州オフィスから遠く、普及員がWifi環境を手に入れるために、長時間の移動(片道2～3時間)が必要

- また、郡オフィス、州オフィスによっても安定したWifi環境がないこと、停電、Wifi料金未払いによる接続の遮断などあり、円滑な実施のためにデータ送付の際のデータ確保のサポートが不可欠。

- ・ODKアプリの使用停止、誤作動、メンテナンス、サーバーの誤作動などの危険

- 定期的なデータのバックアップとアプリに関する情報収集が不可欠。一定の質のプロバイダーから、サーバーを調達する必要がある。

引き続き、情報共有いたします。

ZIM-SHEP